

今年で10周年 版画フォーラム2013

版画フォーラム2013和紙の里ひがしちぢぶ展が、6月22日(土)から29日(土)までの8日間、東秩父村和紙の里において開催されました。

この展示会は、版画フォーラム実行委員会が主催し、村をはじめ県や多くの機関、企業が後援しています。

記念すべき10回目となる今回は、全国および海外から合わせて229人、373点の作品の応募がありました。

会場には子どもたちからお年寄りまで多くの方が例年以上に訪れ、連日にぎわいを見せました。

作品は、落ち着いた色合いのものや色彩鮮やかなものまで、個性あふれる素晴らしい作品が数多く



▲版画フォーラム大賞
『赤い海(汚染水放出)』
[遠藤敬親さん作]

東秩父村の文化発展のためにも、版画フォーラムが毎年続けて開催されますよう願っています。

出品され、版画フォーラム大賞には遠藤敬親(ちかひろ)さん(福島県)の『赤い海(汚染水放出)』が選ばれ、豊かな芸術性に驚きの声が上がりました。



ありがとう！ カール先生



平成22年から3年間、外国語指導助手(ALT)として、主に東秩父中学校で活躍されたホーシェン・カール・エドワード先生が7月末で退任し、アメリカに帰国しました。

「私は3年前、東秩父村に英語を教えにやってきました。3年間すごく楽しかったです。先生たちは、私に先生としてどうあるべきかのアドバイスをたくさんくれました。感謝しています。私はこれからアメリカの高校の先生になります。そこで東秩父村で学んだことを生かしたいと思います。皆さん本当にありがとうございました。」

カール先生は、授業のみならず休み時間や給食の時間なども積極的に生徒とふれあい、交流を大切にされていました。また日本に遊びに来た際はぜひ東秩父村にお越しください。3年間本当にお世話になりました。

なお、2学期からは新しくヘイク・ニコラス・デビット先生が着任します。児童・生徒の皆さんは気軽に声をかけ、語学の勉強と国際感覚を身につけてください。

ジャイアンツOB 宮本和知氏講演会 「夢をあきらめない」

7月2日(火)、東秩父中学校では読売ジャイアンツOBの宮本和知氏を講師に招き、中学生や槻川小学校高学年、地域住民の皆さんを対象としたふれあい講演会を催しました。

日本テレビの朝のニュース番組「ズームイン!!サタデー」でおなじみの宮本氏は、テレビで見せるキャラクターそのままに、明るく楽しい講演をしてくださいました。「『なんで? どうして?』と思う心が先に進む原動力になる」「後ろを振り返ることより前に進め」と、宮本氏の熱い心が表れた言葉は、子どもたちに素敵な贈り物となったと思います。



特別講演会「日本の明日、村の明日を考える」

7月7日(日)、コミュニティセンター「やまなみ」にて、元埼玉県副知事で内閣府大臣官房審議官の青木信之氏が講演会を行いました。

当日、会場にはたくさんの人が訪れ、青木氏の講演を熱心に聞き入っていました。

少子高齢化の問題や国と地方の財政問題、アジアの近隣諸国との関係を主にとりあげ、特に少子高齢化については東秩父村の現状を加味した内容をお話いただきました。

青木氏の講演は、村民の皆さんもさることながら村職員ならびに村政においても重要な糧となり、今後の進展へとつながると考えます。

